

福島県三春町

9月に福島県三春町へリサイタルでうかがいます。郡山から車で小一時間、桜が大きな滝のように流れ落ちる三春滝桜や、伝統工芸品の三春駒で知られているとても美しい町です。その三春の交流館「まほら」ですが、7年前の初コンサート以来、2、3年ごとにお声をかけていただいています。

特別なクラシック専用ホールは別として、ほとんどのホールは、年に数回しかクラシックコンサート



©Hideki Otsuka

小山実稚恵 — 149 — ピアノと私

が開かれず、せっかくのピアノが半分眠ったままになっていることも多いのです。でも「まほら」のピアノは、丁寧に育てられていて、ような気がしました。ホールの方たちはピアノを備品として扱うのではなく、まるで自分たちの「家族」のように大切に可愛がっていました。

ピアノは弾き手の気持ちを理解してくれそうです。喜びをもって弾けば、共に喜びを共有して表現してくれる。優しく話しかければ、そ

っと返事をしてくれる。すべての感情を音で返してくれます。そういう楽器の心を大切に見つめながら「まほら」の人たちはピアノを大事に育ててくれている感じがしたのである。

リハーサル時から、コンサートに向けてとにかく一生懸命。全員が本番に向かって何かをしたいという気持ちに溢れています。わからないことは躊躇せずに真剣に質問をする。その勇氣にも感心しましたが、実はその質問が的を得ていることにビックリしました。

単なる知識から発生する月並みな質問ではなく、強い想いから生まれた素直な疑問や質問。本質を捉えて核心にせまるのは、知識や経験に頼って頭でっかちになることとは違ふと、改めて学んだ気がしました。

公演情報

パシフィック・フィルハーモニア東京
第183回定期演奏会

9月5日(土) 14:00
東京芸術劇場 コンサートホール
指揮：鈴木秀美

シューマン：ピアノ協奏曲

問い合わせ：

パシフィック・フィルハーモニア東京チケットデスク
☎03-6206-7356

小山実稚恵 ピアノ・リサイタル

9月13日(日) 14:00
三春交流館「まほら」まほらホール
《ベートーヴェン後期三大ソナタ》
ピアノ・ソナタ第30番
ピアノ・ソナタ第31番
ピアノ・ソナタ第32番

問い合わせ：三春交流館 まほら
☎0247-62-3837

と話しかけられました。驚きながら「いい音ですよ」と私。あの雰囲気と会話のミスマッチの光景は未だに忘れることができません。

リサイタルが終わってから打ち上げの簡単なパーティーがありました。手作りのおにぎりやのりまき、名物の厚揚げなどが出て、おじさんがハーモニカで町の歌を披露してくれました。とても温かいものでした。最後にみなさんと一緒に写真を撮りました。コンサートは単なる一つのリサイタルではなかったのです。せっかくやるのだから、いいものにしたい、という真心からみなさんが動いてくれたことを感じて本当に心豊かになりました。

音楽は心。だからピアノを弾くことは、心を弾くことだと思っています。

コンサート本番の日の朝です。普通は楽屋口から入るのですが、正面玄関から入るように促されました。すると黒っぽい背広を着た男性の方達が玄関の両側に、2列にグッと両足を開き立ち並んでいました。ちよつと異様な光景にたじろぎながら列の間を歩くと、一人の方から突然、「ピアノの調子はいいですか？」

KOYAMA MICHIE 東京藝大卒、同大学院修了。1982年チャイコフスキー国際コンクール第3位。85年ショパン国際ピアノコンクール第4位。「12年間・24回リサイタルシリーズ」(2006～17年)や「ベートーヴェン、そして…」(19～21年)は、その演奏と企画性で高い評価を受けた。2022年より、サントリーホール・シリーズ「Concerto〈以心伝心〉」に続き、ソロ・リサイタルのシリーズ〈未来永劫〉を開催する。ショパン、チャイコフスキーの二大コンクールなどの審査員も務める。17年度紫綬褒章を受章。仙台での「こどもの夢ひろば」のゼネラル・プロデューサーを務める。